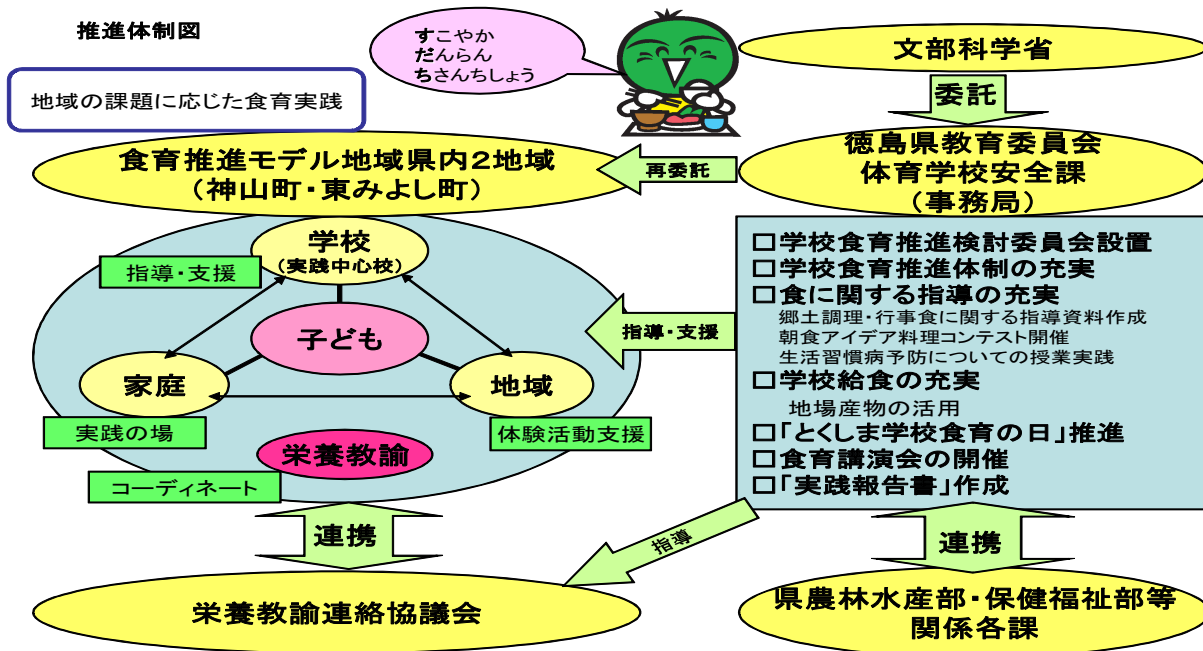


# 栄養教諭を中核とした食育推進事業 事業結果報告書

都道府県名	徳島県
再委託先名	神山町・東みよし町

## 1. 事業推進の体制



## 2. 事業内容

テーマ1	学校食育推進体制の充実	
<p>(1) 学校における食育推進検討委員会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○食育推進検討委員会 平成 25 年 1 月 29 日 (火) (県庁 9 階 教育委員室 参加者 16 名)</li> <li>&lt;協議内容&gt; 「平成 24 年度の取組と平成 25 年度の取組について」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活習慣病予防や野菜摂取をテーマとした実践</li> <li>・郷土料理指導に関する研究と指導資料集の作成</li> <li>・朝食アイデア料理コンテストの開催</li> <li>・食育推進モデル地域の取組</li> <li>・高校生を対象とした食育の推進</li> <li>・徳島県の学校における食育推進の基本方針</li> <li>・平成 25 年の取組にむけた成果指標 等</li> </ul> </li> </ul>		<p>&lt;食育推進検討委員会の様子&gt;</p>
<p>(2) ワーキンググループ会議の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○第 1 回会議 平成 24 年 10 月 1 日 (月) (県庁 204 会議室 参加者 14 名)</li> <li>&lt;協議内容&gt; 平成 24 年度学校における食育推進の取組状況 朝食アイデア料理コンテスト第 1 次審査</li> <li>○第 2 回会議 平成 24 年 11 月 5 日 (月) (県庁 902 会議室 参加者 14 名)</li> <li>&lt;協議内容&gt; 徳島県の郷土料理指導資料集作成 平成 25 年度の取組の方向 学校給食アイデア料理コンテスト第 1 次審査</li> </ul>		<p>&lt;ワーキンググループ会議の様子&gt;</p>

(3) 各市町村における学校食育検討委員会の開催と充実

○栄養教諭と市町村教育委員会食育・給食担当者が中心になって運営し、各市町村で開催した。

(4) 栄養教諭連絡協議会（食育コーディネーター研修）の開催

- 第1回栄養教諭連絡協議会開催 平成24年 4月16日 徳島県立総合教育センター
- 第2回栄養教諭連絡協議会開催 平成24年 5月28日 徳島県立総合教育センター
- 第3回栄養教諭連絡協議会開催 平成24年 8月23日 徳島県立総合教育センター
- 第4回栄養教諭連絡協議会開催 平成25年 2月15日 徳島県立総合教育センター

(後で再掲)

テーマ2 食に関する指導の充実

(1) 栄養教諭連絡協議会の開催

○第1回

開催期日：平成24年4月16日（金）9:45～16:00

場 所：徳島県立総合教育センター

対 象：新任栄養教諭

- 内 容：
- ・講義：教育公務員としての倫理と服務
  - ・講義：栄養教諭の役割  
平成24年度の研修課題について
  - ・実践発表・演習協議：栄養教諭としての取組
  - ・講義：学習指導の方法について



<第1回開催の様子>

○第2回

開催期日：平成24年5月28日（火）9:45～16:00（午後より食育リーダー研修とかねて実施）

場 所：徳島県立総合教育センター

対 象：栄養教諭 42名

- 内 容：
- ・講義：スポーツ栄養の指導
  - ・講義：平成24年度の取組
  - ・協議：学校給食への郷土料理導入のために
  - ・講義：徳島県の学校における食育推進
  - ・実践発表：小松島市学校食育推進委員会の取組
  - ・実践発表：食育リーダーとしての取組



<第2回開催の様子>

○第3回

開催期日：平成24年8月23日（金）9:45～16:00

場 所：徳島県立総合教育センター

対 象：新任栄養教諭 9名

- 内 容：
- ・講義：特別活動における食に関する指導の在り方
  - ・講義：体育科、保健体育科における食に関する指導
  - ・模擬授業及び授業研究会

<小学校体育科（保健領域）>



<中学校保健体育科>



<授業研究会>



○第4回

開催期日：平成25年2月15日（金）9:45～12:00

場 所：徳島県立総合教育センター

対 象：栄養教諭

- 内 容：
- ・講義：平成24年度の取組と平成25年度の計画について
  - ・講義：「早寝、早起き、朝ごはんが3つのお得！さらに糖尿病予防にもなる」  
講師 高知大学教育学部教授 原田 哲夫 氏





## テーマ1～4に共通する具体的計画

○栄養教諭連絡協議会の開催

### 本事業における評価指標と考察

○朝食献立応募（取組）数

応募総数 H23 317点（小学生151，中学生139）→H24 331点（小学生192，中学生139）

応募校数 H23 33校（小学校23，中学校10）→H24 58校（小学校38，中学校20）

栄養教諭や食育リーダーの働きかけにより増加した。1校の応募数を10点とし、校内審査実施後応募することとしたため、応募数は変わらないが、学校数は増えている。昨年度に続き応募のあった児童生徒も複数有り、関心をもって家庭で取り組む機会は増えていると考えられる。

○学校給食における地場産物の年間活用率（食材数をベースとした県独自調査）

平成23年度の58.24%→平成24年度59.93%

地元生産農家や生産者団体と連携・協力し地場産物供給ネットワークの充実が図られた。

### 本事業の成果

○栄養教諭を含む各学校の食育リーダーを対象として食育実践発表会及び食育講演会を開催し、本事業の食育推進モデル地域の先進的取組を県内に広く伝えるとともに、講師の尾松指導主事から「学校における食育推進」についての講演で具体的な示唆をいただいた。

食育リーダーからは、『食』と『教科』、『総合的な学習の時間』での指導と、地域との連携がわかりやすく参考になった」「地域にある産物や郷土料理をキーワードに、地域の方々と見事に連携して大変勉強になった」「中学校では給食中心の食育しか実施できていないので、講演から得たヒントをもとに、もう一度教材化を考えたい」といった意見が見られ、食育リーダーの職務の認識と課題意識の向上につながった。

○新任栄養教諭については、所属校で生活習慣病予防を課題とした食に関する指導に取り組むことを研修課題として、第3回食育コーディネーター研修会では、体育科、保健体育科及び特別活動における食に関する指導のポイントについての講義及び、模擬授業・授業研究会を実施した。

本研修を通して、教科等における食に関する指導の授業実践に対する意識を高めるとともに、教材の選定や提示の仕方、ICTの活用方法等の向上を図る機会となった。

教科等の目標や内容を達成する中で食育の視点をとらえて意図的に「食に関する指導」を行うことや、TTによる授業の進め方について具体的な理解を進めることができた。

○郷土料理や地場産物を生かした学校給食献立についての研修や郷土料理指導資料集作成のためのブロック別研究を通して、栄養教諭自身が本県の郷土料理や食文化のすばらしさを見直し、教材として活用する方策について整理する機会となった。

今後は、各学校での教科等における食に関する指導や学校給食における効果的な活用について充実を図る必要がある。

### 今後の課題(今回の事業を実施した結果、新たに見えた課題)

○効果的に食に関する指導を進めていくためには、単発ではなく発達段階や地域の実態に即した系統的な計画の作成が必要である。本県では、「食に関する指導の全体計画」については既に全公立小・中・高・特別支援学校学校で作成済みだが、「年間指導計画」については、全ての学校で作成されておらず、その充実を図る必要がある。

○小・中学校の9年間を見通し、児童生徒や地域の実態に応じて到達度目標を定め、系統的に食育を推進するとともに、中学校における食育の充実を図っていく必要がある。また、幼・小・中・高の校種間の接続についても考えていく必要がある。

○本県では成人の野菜摂取不足が新たな課題となっており、各学校でも食に関する指導や学校給食を通じ野菜摂取の大切さについて子どもの頃から理解を深める取組を進めている。今後、肥満傾向の割合が高いといった課題も含め、望ましい食習慣の形成について、長期的な視野で食に関する指導を継続・反復し、計画的に実施していく必要がある。

また、食に関する指導で学んだことを生活の中で実践しようとする意欲の高まりはあるが、関心のある家庭とそうではない家庭の二極化も見られることから、習慣化を図るための働きかけに工夫が必要である。

○現在食材数ベースによる本県独自の調査方法で地場産物活用状況調査（活用率）を実施しているが、国の算出方法と異なるため、一本化を図る必要がある。平成25年度からは、新しい「徳島県教育振興計画」で、国の調査方法に準じた調査方法に改め、国の目標値である30%を基準値として、平成29年度までに35%まで引き上げることを目標として掲げることし準備を進めている。